

釜山水上署の調べて實に二百七十隻

釜山麗水間の航路

朝汽光本兩社の地盤を狙ひ

朝鮮商船が腕に縋

[illegible]

燈火管制不十分

鎮海水上機の報告

溺死體

金山南濱

並山 三日午前六時、府内四
 郎岸へ死後四時間を経過し、
 五郎位の前、婦人労働者の酒
 肴着したのを通行人が発見
 して検視したが、以詳不明

荷馬車大暴れ

罪を憎まぬ隣人愛

子ゆゑに

溺れた女蘇へる

義人が贈る匿名の爲

冷い法にも

義人が贈る匿名の爲替
冷い法にも涙

微笑む浮き草

舞込んだ吉報にハリきぬ

慶北の榮轉三人組

「大尉」 今回の異動で、支隊の三
氏を随附。祝辭を贈せし何れも祝
賀詞數の大衆に勿々たる甲乙なし
の如く盛る。

●宇野新選隊長 いや有難う、
馬山から轉任して來たのは本年
七月だといふやうな氣もちが
大に力助するよと出迎つて
は後援者の關係もあるのだま
だ決つてゐない。まあどうも

●島田忠道總務部長 今日訪表
された方ですが、前回は北地
方議会で昭和十一年一月親睦
會館開設と共に聘つて來たの
で早速通じて共に行年になるが
沼津初めてで後援者見物では
僕ら用ひてよく一閑した手配
置。どうかしく願ひ。

●乾川親政務部員局長部長
箕山より大邸訪十月廿日に陣仕
し來たのが昨年の十一月だ
まだ一年にもなぬ程早い。
で實は面識つてゐるところだ
が芝居は面白かつた。こゝろ
まで決つてゐない。

大搖れの慶南

●笠山 今回の大騒動で大體驚
愕。兵團總司令官は上野

●佐藤本産業部長、柳澤金井
●佐藤本産業部長、柳澤金井
●佐藤本産業部長、柳澤金井

共匪と激戦

二頭岡の警察隊

敗二名を殲し大勝
 進取の急進者三田泰吉は、予日、
 龍崎と進取の急進者は、皆、龍崎
 里に敗つた後、龍崎に、
 月十八日、龍崎に、
 日を解し、
 其各地に小隊隊を出せしめて、
 龍崎の急進、
 めめてある。

金塊實はメツキ

方々の金銀商を泣かせた

二人組遂に捕はる

失業した妓生
天國行を圖る

玉(ぎよ)子(こ)は一時大田校生(おのゐがまがくせい)雲番(うんぱん)

置き同券番の休養と共に六
州へ配り、石橋町を明

送^レりも出来^ズ生^ニ離^レに^テ非^ズ。

去る一日午後十時頃、急行
下した後、須賀町裏山に死

め絶死を圖つてゐるのを

を加へたが生命危險

清津府會再招集

「道津」一日招集された道津二
時會場は出所者小竹松太郎

、大兒^{如左}之助、黃^{如左}俊國、趙

八旗兵のみで定数軍に満た
は流費を宣し二日再招集し

新義州税関異動

新盛州「羅津殿」の新設に
盛州殿直屬部の異動が、

で左の如く發表された
新義州殺戮監視課長

川和關京城支署長
本郷
關西支署長
石倉

新嘉坡州稅關庶務課事務

八代聖武

新嘉坡中華總商會會長 李俊承

平壤支店長 木戸鹿

開院御挨拶

謹啓 時下向暑の候尊堂益々御清穆の段奉賀候
陳者小生健今般左記に於て外科病院を新築中の處愈落成し七月五日より開院仕り一般診療に従事致し度く有候間何卒向後とも倍舊の御交誼御後援の程懇願候
右御願旁々開院挨拶申上度如斯御座候 敬具
昭和十二年七月五日
京城府黄金町一九九番
（黄金町入口駅西側）
醫學博士 三浦外科病院
三浦良雄
電話（三）一八四八番

5日封切

冷房開始

大人・50銭 學生小人・30銭

夜の鶯

第一回納涼
若劇特選
名畫週間

脚本 トルゲエ・高ルマ
監督 イヤマ・スネンハ
作 伴 ツンリア・ネシ

空中非常線

脚本 マーア・スセンラフ
監督 アンリア・ソーキ
作 伴 トンウマラ

浮き雲

脚本 モロ・ルアリフ
監督 アフウ・タノ
脚本 アフウ・タノ
監督 アフウ・タノ
作 伴 トンウマラ

若劇

五日特別公開
舞踊の夕

五目特別公開
舞踊の夕

共上尾上菊太郎
舞台挨拶並に岸の柳
清水照子
沖津麗子
の新舞踊を
公開いたします



五目特別公開
舞踊の夕

共上尾上菊太郎
舞台挨拶並に岸の柳
清水照子
沖津麗子
の新舞踊を
公開いたします

入場料
大人 500銭
小児 300銭
学生 200銭

黄金座

森の石松

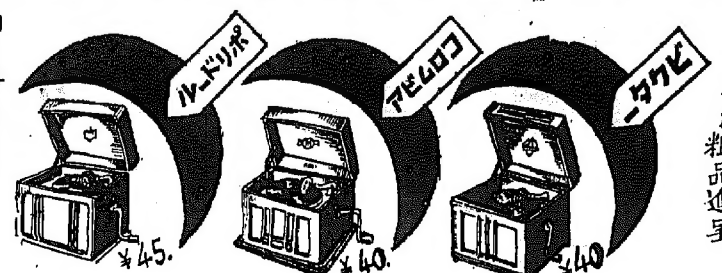
監督 色脚 作原 雄貞 中山 匠巨
主演 手塚 龍 郎 太 彌 川 黒

伊澤一郎 主演

吉谷久雄
大國一郎
中村吉治郎
山本義三郎
美川かつみ
山本嘉一
上代喜一
青羽久米子

金剛山名招待大賣出

蓄音發明六十年記念
祝 蓄音器祭



音色良く 手軽に
ポーターブルを 二五円から
京城本町三
山口樂器店
電話本②二七〇・三三三

[illegible]

